令和6年度　産官学連携事業実績一覧

No	部署名	相手方団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果
1	政策企画課	大塚製薬株式会社	自転車イベント「いばチャリin那珂」への協賛品提供	市とLuckyFM茨城放送が共同開催した標記のイベントに、以下の協賛品をいただいた。 ・ポカリスエット ・ソイジョイ	令和6年5月26日	・スポーツイベントとの相性がいいスポーツ飲料や栄養補助食品を配布したことで、イベント参加者の満足度向上につながった。 ・提供商品のチラシや、健康情報や市との連携協定締結について掲載したチラシを同封して渡すことで、相互にメリットのある取組となった。
2	政策企画課	大塚製薬株式会社	健康に関する情報提供（市民向け）	健康維持や健康増進に関する情報について分かりやすくまとめたリーフレットを提供いただき、市公式SNSや市役所（本庁舎）1階総合案内付近に設置しているデジタルサイネージに掲載し、市民に共有した。	随時	市民の健康に対する意識の向上につながった。
3	政策企画課	大塚製薬株式会社	健康に関する啓発ポスターの作成	健康管理を訴えるポスターを共同で作成し、大塚製薬は商品取り扱い店舗に、市は公共施設に掲示した。	令和7年2月～	・市民に、健康について気にかけるきっかけを与えることができた。 ・本市と大塚製薬株式会社との連携取組のPRにつながった。
4	政策企画課	明治安田生命保険相互会社	地域みまもり活動パトロール表示の営業車への掲示	「地域みまもりパトロール中」の表示とナカマロちゃんを印刷したマグネットシートを作成し、営業車に掲示していただいた。	令和5年4月～	パトロールの目があることを広く知らせることで、市内の安心安全を守ることにつながった。
5	政策企画課	明治安田生命保険相互会社	自転車イベント「いばチャリin那珂」での健康チェックブースの設置	市とLuckyFM茨城放送が共同開催した標記のイベントでブースを設置し、参加者に対して血圧測定や血管年齢測定を行った。	令和6年5月26日	・イベント参加者に、受付からイベント開始までの待ち時間等を飽きずに過ごしてもらうことができた。 ・健康に関する内容であったためサイクリストの関心も高く、多くの人がブースを訪れていた。 ・明治安田生命保険相互会社からも、顧客の開拓につながる取組と評価いただき、相互にメリットのある取組となった。
6	政策企画課	明治安田生命保険相互会社	市制施行20周年及び連携協力PRティッシュの作成・配布	標記のポケットティッシュを明治安田生命保険相互会社が作成し、那珂営業所のスタッフは顧客に、市は市内イベントや福祉関係窓口で配布して、市政施行20周年及び連携協力についてPRを行った。	令和6年度	市制施行20周年及び市と明治安田生命保険相互会社との連携協力について、広く市民等にPRすることができた。
7	政策企画課 各課	明治安田生命保険相互会社	市イベント等のチラシ配布	市の事業やイベントのチラシを、顧客訪問時に配布いただいた。	随時	・市の事業やイベントのPRにつながった。 ・市民の属性や家庭状況等を把握するスタッフから直接案内できるため、必要な人に必要な情報を情報を届けることができた。
8	政策企画課 こども課 介護長寿課	明治安田生命保険相互会社	行政情報チラシの作成・配布	下記チラシを作成していただき、顧客訪問時に配布いただいた。 ・地域包括支援センター案内チラシ ・子育て支援行政サービス案内チラシ	令和6年度～	・地域包括支援センターや市の子育て支援について知ってもらうきっかけとなった。 ・市民の属性や家庭状況等を把握するスタッフから直接案内できるため、必要な人に必要な情報を情報を届けることができた。
9	政策企画課 こども課 介護長寿課 健康推進課	明治安田生命保険相互会社	顧客訪問時の行政サービス情報の案内（タブレット）	那珂市の行政サービスの情報を専用のタブレットに記録し、那珂営業所のスタッフが顧客に案内するとともに、行政サービスに関するアンケートを行った。	令和7年度～	・市のHPでの発信内容を知ってもらうきっかけになった。 ・市民の属性や家庭状況等を把握するスタッフから直接案内できるため、必要な人に必要な情報を情報を届けることができた。 ・対面でのアンケートにより、市民の率直な意見を知ることができた。
10	政策企画課 防災課	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	交通安全注意啓発マップの作成	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の交通データを活用し、急停車の多い箇所を示した市内のマップを作成した。	令和7年3月	注意が必要な箇所について、視覚的に分かりやすく提示することができた。
11	政策企画課	東日本旅客鉄道株式会社	デジタルスタンプラリー「駅からサイクリング」	自転車活用の取組の一環として、東日本旅客鉄道株式会社水戸支社と連携し、市内飲食店や観光スポットを上菅谷駅からサイクリングで巡るデジタルスタンプラリーを開催した。	令和6年4～7月、10～12月	・市内観光スポットや飲食店、商店への誘客につながった。 ・市の物産品のPRにつながった。（すべてのスポットを巡ったかたに物産品をプレゼントしたため。）
12	政策企画課	茨城キリスト教大学	看護学部地域特定推薦	看護学に深い関心を持ち、成績優秀で地域の保健、医療及び福祉の向上に貢献する志のある者のために設けられた茨城キリスト教大学看護学部の特別入試枠において、市からの志望者の募集及び推薦を行った。	令和6年10月～11月	市内在住の優秀な学生を推薦することで、将来の地域の保健、医療及び福祉の向上に期待できる。
13	政策企画課	茨城大学	「地域協創PBL」実施協力	茨城大学が実施している、まちづくりのプレーヤーとの意見交換を通して地域課題と向き合い、その解決策となる地域振興プランの提案を行う授業「地域協創PBL」において、那珂市が題材となり、地域人の講演、フィールドワーク、地域振興プランの作成と発表、市長との懇談会を行った。	令和6年8月23日、26日、27日	・地域志向の高い学生に、那珂市のことや市で活躍するかたについて知ってもらう機会を持てた。 ・学生ならではの視点を盛り込んだ課題解決プランを聞くことができた。
14	政策企画課	茨城大学	茨城大学学園祭「茨苑祭」での那珂市ブース設置	茨城大学学園祭「茨苑祭」に市PRブースを出展し、那珂市の物産品や農作物、ナカマロちゃんグッズの販売を行ったほか、那珂市職員採用チラシの配布を行った。	令和6年11月9日	学生やその家族、周辺住民などに、那珂市の魅力及び職員採用についてPRすることができた。
15	政策企画課	日本大学文理学部	日本大学文理学部学園祭「桜麗祭」での那珂市ブース設置	日本大学文理学部学園祭「桜麗祭」に市PRブースを出展し、那珂市の物産品や農作物、ナカマロちゃんグッズの販売を行った。	令和6年11月4日	都市部の学生やその家族、住民に、那珂市の魅力をPRすることができた。
16	政策企画課	日本大学文理学部	大学地域連携学会への参加	日本大学文理学部教授が事務局を務める標記の学会において、那珂市と大学等の連携取組についてポスター発表を行ったほか、高校生発表の優秀者に対して那珂市長賞を授与した。	令和6年11月16日、17日	全国の大学関係者に、那珂市と大学等との連携取組についてPRすることができた。
17	総務課	茨城大学	茨城大学リカレント教育プログラム	茨城大学リカレント教育プログラムを職員研修として提供し、職員が業務時間中に研修として大学の授業を受講できる取り組みとして実施している。年2回（前期・後期）募集し、希望のあった職員を派遣している。	令和元年10月～	茨城大学の持つ学術的な知識・財産を、働きながら再学習ができる場として活用するとともに、学生・他企業参加者と交流することで、行政運営に携わる職員の能力向上を目的とした研修実施の取り組みを図ることができた。
18	総務課	大塚製薬株式会社	市職員への「熱中症対策アンバサダー講座」受講促進	大塚製薬株式会社がオンラインで実施している「熱中症対策アンバサダー講座」について、全職員に情報提供するとともに、クーリングシェルター指定施設の管理者の受講を促す。	令和6年6月	職員の、熱中症対策に必要な知識の習得につながった。「熱中症対策アンバサダー」の認定を受けた職員もいる。
19	市民協働課	茨城女子短期大学	まちづくり活動参加促進事業（協まち・カフェ）補助スタッフ	額田地区の協まち・カフェにおいて、ブースの準備や片付け、アンケート用紙の配布、飲み物の提供の補助をお願いした。	令和6年11月9日	まちづくりに興味がある学生に市内で活動する多様な団体がまちづくりに取り組んでいることを知ってもらい、市や地域活動に対する理解を深めてもらうことができた。
20	環境課	茨城大学、茨城キリスト教大学、常磐大学	環境フェスティバル那珂2024運営補助	大学に、運営補助スタッフとしてボランティアで参加いただける学生の募集に協力いただいた。学生には当日、受付等の運営補助に当たってもらった。	令和6年6月8日、9日	・学生が参加することで、イベント全体に活気が出た。 ・イベントに参加することで、学生が環境問題解決に向けて取り組んでいる人や団体を実際に見ることができ、学んだ知識を実践に活かす経験を提供することができた。 ・ボランティア活動を通じて、学生同士や地域で活動する方とのつながりが生まれた。 ・学生たちがイベントでの経験を周囲に伝えることで、より多くの人々が環境問題ついて考えるきっかけとすることができた。
21	社会福祉課	株式会社水戸京成百貨店	障がい者就労支援事業所　京成百貨店物品販売会	障がい者就労支援事業所が製造する物品等（食料品、工芸品）を販売するにあたり、販売会場の提供とSNS等でのPRをしていただいた。	令和6年5月31日（荒天中止）、10月24日	・障がいのあるかたの工賃向上の一助となった。 ・障がいのあるかたの社会参加の機会となった。
22	介護長寿課	SOMPOひまわり生命保険株式会社	「認知症サポーター・ステップアップ講座」の開催と認知症に係るパンフレットの設置	市が主催する認知症サポーター・ステップアップ講座において、認知症本人の体験ができる映像の提供と放映と、グループワークでの書記をやっていただいた。参加者へ、認知症に係るパンフレットやVRキットの配布をしていただいた。 また、認知症に係るパンフレットについて、随時窓口等に設置をした。	令和6年6月22日、9月18日、10月29日	・映像で見ることで、認知症に対する理解がより深まる講座となった。 ・認知症に係るパンフレット等の配布により、認知症について触れる機会の創出に繋がった。
23	こども課	常磐短期大学、茨城女子短期大学、茨城キリスト教大学	保育施設を見に行こうツアー	保育施設を巡り、保育士を目指す学生に本市の保育施設を知ってもらうとともに、各施設の特色や子どもたちの雰囲気、職場環境など、保育職の魅力を体感し就職につなげる。	令和6年8月22日、24日、29日、9月7日	・学生からは、「実際の保育の現場を見ることが出来ることや、学生と歳の近い先生の話を聞くことができ参考とすることができた。」「複数の施設を回ることにより、施設の特徴など比較することができ、今後の就職活動の参考とすることができた。」との感想があった。 ・施設においても、人材が不足する中、保育士を目指す学生に対し、PRすることができた。 ・それぞれの園の先生や子どもたちの実際の雰囲気を感じることができ、市内施設の保育環境を見せることができた。
24	こども課 （菅谷保育所）	茨城女子短期大学	職員研修「不適切保育について」	職員の資質の向上のため、「不適切保育」についての講話を実施していただき、学んだことを今後の実践に活かす。	令和6年10月11日	・不適切について具体的に講話をしてくださり、分かりやすく学ぶことができて、職員の資質向上につなげることができた。
25	こども課 （地域子育て支援センター）	茨城女子短期大学	「子育てフェスタ2024」子育て世帯向けのイベント	学生に、以下の運営補助を行ってもらった。 ・手作りの「お面屋」のブースの出展 ・手作りおもちゃコーナーの職員の手伝い ・演奏を交えた絵本の読み聞かせ	令和6年11月3日	・イベントに賑やかさが出た。 ・無料のお面を配ってくれたので、親子さんが喜んだ。 ・職員の手伝いをしてもらったので、参加者に作り方の説明が丁寧に出来た。 ・絵本の読み聞かせをしてもらったので、絵本の大切さを伝えることができ、参加者に喜んでもらえた。
26	健康推進課	明治安田生命保険相互会社	寄付金の受入れ	従業員による募金活動で集めた768,300円を寄付いただいた。	令和6年9月	女性がん検診の受診奨励に係る事業に充当し、受診奨励のために活用した。
27	商工観光課	常磐大学	イベント交流事業（八重桜まつり）	八重桜まつりにおいて、学生が、前年度企画したキャンドルライトアップの設置や桜の花びらを使ったワークショップの運営を行った。 また、翌年度の八重桜まつりの盛り上げのため、市職員や協力隊による講演（授業）をもとに、イベントの企画案を作成する。	令和6年4月21日（八重桜まつり） 令和6年2月28日（翌年度に向けた調整）	・参加学生に、那珂市のことを知ってもらうことができた。 ・学生を通して、イベントを盛り上げることができた。
28	都市計画課	茨城女子短期大学	茨城女子短期大学学園祭「撫子祭」での那珂市ブース設置	茨城女子短期大学学園祭「撫子祭」に出展し、水郡線全線開通90周年特別企画「リスカの地上絵」プロジェクトに関する「うまい棒パネル制作体験」を実施した。	令和6年10月26日	学生や学生の保護者などに水郡線の利用促進についてPRすることができた。
29	生涯学習課	茨城女子短期大学	家庭教育学級　合同学習会への協力	家庭における子どもの教育の在り方について、正しい理解をもつために、市保幼小中保護者に向けた学習の機会とする。 演題：「自己肯定感って何だろう？」	令和6年7月4日	「自己肯定感」を高めるための子どもとの関わりについて、学びを得ると同時に、日々の子育てに悩みを抱えている保護者に寄り添う内容の講演だった。事後アンケートでは参加した多くの保護者から、今後の子育てに対して前向きに取り組もうとする声があった。
30	生涯学習課	茨城キリスト教大学	「家庭の日」図画・作文の審査	市内小中学生が応募した作品の審査を行う。 図画の部：（小学生）各学年から金・銀・銅賞各1点（中学生）全学年から金・銀・銅賞各1点を選定する。 作文の部：（小学生）各学年から金・銀・銅賞各1点（中学生）全学年から金・銀・銅賞各1点を選定する。	令和6年10月中旬～11月中旬（作品審査） 令和6年12月7日（発表会及び表彰式典）	市内小中学校から図画・作文を募集し、多数の応募をいただいた。作品を通して、より良い家庭づくりと人間づくり運動の推進と普及を図ることができた。
31	生涯学習課	株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック	ふるさと教室開設事業	ふるさとを愛する活力ある青少年を育てるために実施している標記事業の中で、水戸ホーリーホックについて知るための体験活動を実施した。 （場所：城里町の『アツマーレ』）	令和6年9月29日	地域のプロサッカーチームについて学ぶことで、ふるさとのよさを再認識するとともに、サッカー体験によって運動することの楽しさや、学校や学年の違う友だちとのチームワークで社会性を養う機会となった。
32	生涯学習課 （スポーツ推進室）	株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック	水戸ホーリーホックホームゲーム「那珂市の日」	水戸ホーリーホックホームゲームにて、「那珂市の日」として市のPR活動を行った。市特産品やPR大使サイン入りグッズのプレゼント抽選会、市PRブースの設置、市内飲食店による出店、市内在住者特別優待を行った。 また、キックオフ開始前にはナカマロちゃん同席の上、市長が挨拶を行った。	令和6年4月13日	サポーターに、那珂市が水戸ホーリーホックのホームタウンであることを改めて周知し、身近に感じてもらうことができた。
33	生涯学習課 （スポーツ推進室）	株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック	水戸ホーリーホックホームゲーム中学生サッカー教室 in 那珂市	青少年の健全な育成と優れたサッカー技術を広め、スポーツの振興に寄与すること、生徒及び保護者のほか、市内のスポーツ関係団体、部活動指導者等の理解と機運醸成を図ることを目的とし、中学生対象にサッカー教室を開催した。	令和7年1月19日	水戸ホーリーホックのコーチングスタッフから、市内の中学生が直接指導を受けることができ、技術や意欲の向上につながった。
34	生涯学習課 （スポーツ推進室）	株式会社茨城ロボッツ・スポーツエンターテイメント	茨城ロボッツ「那珂市の日」	茨城ロボッツゲームにて、「那珂市の日」として市のPR活動を行った。 LINEクイズによる市特産品プレゼント、市PRブースの設置、各種パンフレットの配布、市内在住者特別優待を行った。 また、ティップ・オフ前にはナカマロちゃん同席の上、市長が挨拶を行った。	令和6年12月21日	ブースターに、那珂市が茨城ロボッツのマザータウンであることを改めて周知し、身近に感じてもらうことができた。
35	生涯学習課 （図書館）	常磐短期大学	読み聞かせ研修会	図書館や市内で活動する読み聞かせボランティア及びこれから読み聞かせをやってみたいという方を対象とした、知識や技術のスキルアップを目的とした研修会実施した。	令和7年2月8日	以前より要望があった研修を実施でき、参加者から好評だった。 参加者の読み聞かせについての知識、技術の向上が図られた。
36	生涯学習課 （図書館）	茨城女子短期大学	「図書館まつり」におけるワークショップの実施	読書週間に合わせて実施した「図書館まつり」において、こども向けワークショップを開催していただいた。	令和5年10月29日	図書館まつりに多くのかたが来館し、読書活動推進につながったほか、図書館のPRにつながった。
37	全庁	茨城大学、常磐大学、茨城キリスト教大学、学校法人大成学園、筑波銀行、株式会社JTB、木内酒造株式会社	各種委員等への教員・社員派遣	市の組織する各種委員会等の諮問機関に、教員や社員を派遣いただいた。	随時	専門的な知見から様々な意見をいただき、よりよい市政運営につながった。